

Alicja

Rogalska:

***Singing in the
Dark***

Chiba

Prefectural

Museum of Art

PARADISE

AIR

千葉県立美術館×PARADISE AIR 共同企画 #1

アリシヤ・ロガルスカ：闇に唄えば

2018年11月20日(火)ー12月2日(日)

開館時間：午前9時～午後4時30分 休館日：月曜日（ただし、月曜日が祝日・振り替え休日に当たるときは開館し、翌日休館）

主催：千葉県立美術館、一般社団法人PAIR 協力：長谷川新



千葉県立美術館は、PARADISE AIR(パラダイスエア)との共同企画として、国際的に活動するポーランドの作家アリシャ・ロガルスカの展覧会を開催します。ロガルスカは、資本主義や移民、フェミニズム、労働、過疎化といった現代社会の抱える不透明な問題と、それに代わる未来のかたちをテーマに、これまで、特定の地域やコミュニティで「他者」として生活し、リサーチやフィールドワークをもとにした住民との共同制作やワークショップを行ってきました。その作品は、社会の不均衡や歪(いびつ)さをときにユーモアを交えながら浮かび上がらせるとともに、新たな「未来」の景色を探ることにつながります。本展では、最初期の作品とともに、現在の関心事と関連する映像作品を展示することで、多岐にわたるロガルスカの活動を紹介します。



Dreamed Revolution, 2014-15, performance, video



Chiaroscuro City Series, 2011, video

社会科学、哲学、文化人類学を教育的背景にもつアリシャ・ロガルスカ。彼女の作品に通底するのは、社会の違和をとらえる鋭敏な感覚です。彼女が試みるのは、現代社会が抱える不透明な問題に対する「オルタナティブな解」を探し出し、資本主義「後」の可能な未来のシナリオを描き出すことです。その「未来」の景色とはどのようなものでしょうか。

《夢見る革命 Dreamed Revolution》(2014-15)は、その一つのかたちを想像する実験的なパフォーマンスの記録です。ポーランドの劇場に地元の活動家100人が集められ、暗く、重々しい雰囲気のある舞台上で催眠術にかけられます。催眠術は彼らの意識を集中させるだけでなく、それまでに学んだ思考の弊害を取り除くことに利用されました。本作品が映し出すのは、催眠状態にある活動家が、普段言えないこと、行わないことを考えながら現在に代わる未来の一つのかたちを想像していく姿です。

本展覧会では、他に、ポーランド北東部のある田舎町の社会的経済的状況を民謡のメロディにのせてユーモラスに歌う《ブロニウフ・ソング Broniow Song》(2012)、淡く緩やかに動く光や波をとらえた《キアロスクーロ・シティ・シリーズ Chiaroscuro City Series》(2011)などの映像作品も併せて展示します。ロガルスカの現代を見つめる鋭い視線と、多岐にわたる関心をお楽しみください。

アリシャ・ロガルスカ

ポーランド出身、ロンドン在住。ロンドンを拠点に国際的な活動を展開するアーティスト。リサーチを軸に、様々な領域を横断しながらコラボレーションを行い、社会の構造や日常に内在する政治的要素に注目した作品を制作。主に、ある特定の文脈における状況、パフォーマンス、映像、インスタレーションなどを創作する。彼女のプロジェクトは、今・ここにおいて異なる政治的リアリティを実践し、様々な声の人々の耳に届き、共存できる空間を創造することを試みる過程で、未来への解放のためのアイデアを共に探っていく。ゴールドスミス・カレッジにて美術修士号、およびワルシャワ大学の文化研究にて修士号を取得。

PARADISE AIR

千葉県松戸市を拠点とするアーティスト・イン・レジデンス(芸術家に一定期間滞在場所と制作場所を提供し、移動と制作活動を支援する取り組み)。かつて水戸街道の宿場町として栄えた松戸の歴史と伝統を踏まえた「一宿一芸」をコンセプトに、これまで200人以上の国内外のアーティストを受け入れている。ロガルスカは現在、PARADISE AIRのロングステイ・プログラム2018(10月1日-12月5日)に参加し「(不)可能性のエクササイズ Exercises in (Im)possibility」と題したプロジェクトに取り組んでいる。

千葉県立美術館との共同企画については、SNSハッシュタグ #p_leaf で発信中。

[アーティスト・イン・レジデンス事業]

助成：松戸市、文化庁(平成30年度文化芸術創造拠点形成事業)

特別協力：株式会社派友商事



交通案内

公共交通機関をご利用の場合

JR京葉線・千葉都市モノレール『千葉みなと』駅下車(徒歩約10分)

JR総武線『千葉駅』西口から《26番のりば》

千葉みなとループバス千葉ポートタワー行

「県立美術館入口(千葉みなとリハビリ病院)」下車(徒歩3分)

お車でお越しの場合

(東京方面から) 東関東自動車道『湾岸習志野』ICから約20分

(成田方面から) 京葉道路『穴川』ICから約20分

(東金方面から) 千葉東金道路『千葉東』ICから約20分

(館山方面から) 京葉道路『松ヶ丘』ICから約20分

*駐車場は78台(うち2台は身体障害者用)、無料でご利用いただけます。

*館の催しによって駐車場が満車になる場合がございます。

そのため公共交通機関のご利用をおすすめしております。

千葉県立美術館

〒260-0024 千葉市中央区中央港1丁目10番1号

Tel: 043-242-8311 Fax: 043-241-7880

<http://www2.chiba-muse.or.jp/www/ART/index.html>

